令和８年 11 月 16 日

報道機関各位

熊 本 大 学

熊本大学と新日本科学が連携大学院を開設
～産学連携による実践的な創薬人材育成を推進～

国立大学法人熊本大学（所在地：熊本県熊本市、学長：小川久雄、以下「熊本大学」）と株式会社新日本科学（本社：鹿児島県鹿児島市、代表取締役社長：平間英之、以下「新日本科学」）は、創薬分野における実践的な博士人材の育成を目的として、2026 年 7 月 1 日に連携大学院に関する協定を締結し、同年 10 月 1 日に連携大学院を開設しました。



株式会社新日本科学 鹿児島本社



協定書を手にする宮澤客員教授
（株式会社新日本科学 鹿児島本社の研究室）

本連携大学院では、熊本大学大学院薬学教育部博士後期課程創薬・生命薬科学専攻に「創薬イノベーション人材養成講座」を設置し、熊本大学と新日本科学が連携して、創薬研究から医薬品開発までを体系的かつ実践的に学ぶ教育・研究環境を提供します。本講座では熊本大学の客員教授等として参画する新日本科学の社員と熊本大学の教員とが連携し、大学院生に対する講義、研究指導ならびに学位取得に向けた教育・研究支援を通じて、次世代の創薬イノベーションを担う人材の育成を推進します。

背景と目的

創薬には、探索研究、非臨床試験、臨床開発、製造、薬事対応、市販後対応など、多岐にわたる知識と実践力が求められます。本連携大学院では、熊本大学が有する基礎研究・教育機能と、新日本科学が有する医薬品開発の実務的な知見、専門人材および研究開発環境を融合させ、創薬プロセスを俯瞰しながら研究成果を医薬品開発や社会実装につなげられる、高度専門人材を育成することを目的としています。

連携大学院の主な連携内容

・新日本科学の社員による大学院生への講義および研究指導
・医薬品開発に関する手技、実験、論文作成等の実践的教育
・新日本科学の研究開発環境を活用したオンサイト型の教育・研究
・熊本大学の教員と新日本科学の連携社員による主・副指導体制の構築
・創薬分野における共同研究の推進および研究成果の社会実装
・創薬に関する高度専門人材の育成と地域産業への波及

オンサイト型の実践的な大学院教育

本連携大学院では、大学院生が基本的に新日本科学の研究開発現場に身を置きながら教育・研究指導を受けるオンサイト型の大学院教育を実施します。

大学院生は新日本科学の研究開発環境を活用し、同社の専門人材から医薬品開発に関する実践的な指導を受けることが可能です。また、熊本大学の研究指導教員が主指導教員または副指導教員として教育や研究に参画し、大学と企業が連携して学位取得までの教育研究を支援します。

これにより、大学院生は、熊本大学における基礎研究および学術的な教育と、新日本科学における医薬品開発の実務的な知見および研究開発環境の双方を活用し、創薬プロセスを体系的かつ実践的に学ぶことができます。

さらに、企業インターンシップや共同研究を通じて、トランスレーショナル研究、レギュラトリーサイエンスおよび非臨床開発研究等への理解を深め、産業界を始めとする多様な場で活躍できる高度な創薬人材の育成を目指します。

今後の展望

熊本大学と新日本科学は、本連携大学院を通じて、産学の知見を融合したオンサイト型の大学院教育を展開し、次世代を担う創薬イノベーション人材を育成するとともに、地域から世界へ挑戦する研究者の輩出、研究成果の社会実装および我が国の創薬力の強化に貢献してまいります。

■お問い合わせ
国立大学法人熊本大学
担当：薬学系事務室　TEL: 096-371-4115 Email: sky-somu.jimu@ms.kumamoto-u.ac.jp

株式会社新日本科学
担当：IR 広報統括部　TEL: 03-5565-6216 Email: ir@snbl.com